

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		婦人の健康づくり推進事業			事業コード	0331
担当課等	所属名	市保健所 健康推進課			担当係名	
	課長名	健康推進課 津志田 和彦	担当者名	市保健所 健康推進課 佐々木しほこ	電話番号	603-8305(691-6222)

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	健やかに暮らせる健康づくりの推進	コード 1
	基本事業	健康の保持増進	コード 1	関連予算 費目名	一般会計 4款 3項 2目 婦人の健康づくり推進事業 (003-08)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度 ● 単年度繰返 ○ 期間限定複数年度				⇒ (開始年度 54年度～)	
事務事業の概要	地区における食生活改善を基本とした健康づくり活動を、自主的に行う食生活改善推進員を養成する。					
根拠法令等	健康増進法・婦人の健康づくり推進事業					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
婦人の健康づくり推進事業として県が実施してきたが、平成9年に地域保健法施行により市町村が実施することとなった。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
受講者の声として「食生活改善推進員として必要な知識・技術を学び、改めて自分の食生活を見直す契機となっており、この事業を継続し、多くの市民に受講して欲しい」という意見が毎年寄せられている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
もりおか健康21プラン、盛岡市食育推進計画を推進するために「食生活改善団体連絡協議会」の活動が重要視され、継続した養成が必要とされている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	おおむね20歳以上の市民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 20歳以上の市民	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 募集活動(広報・地区からの推薦) 定員60名・申込者に開催案内を送付。 ・市保健所で月1回(全7回コース)、健康づくりと栄養の講話、調理実習、運動実技、視察研修をとりいれた教室。地区活動に参加して学ぶ体験学習を開催。栄養士・体育指導員等が従事。7回中5回以上出席し、さらに必須科目である体験学習に参加した受講者に修了証書を授与。修了後は食生活改善推進員として修了者団体に加入し地区の食生活普及活動を行う。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 募集活動(広報・地区からの推薦) 定員60名。申込者の開催案内を送付。市保健所で月1回(6月から全7回コース)健康づくりと栄養講話、調理実習、運動実技、郷土食についての体験学習、地産地消についての講話、地区活動に参加し学ぶ体験学習を開催。栄養士、体育指導員等が従事。7回中5回以上出席し、必須科目である体験学習に参加した受講生に終了証書を授与。終了後は食生活改善推進員として修了者団体(食生活改善推進員団体連絡協議会)に任意で加入し、地区食生活普及活動を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 受講者数	単位	人
				B. 修了者数	単位	人
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	教室を受講することにより、「健康は自分で行く、社会をささえる」という意識に基づいた、健康づくりのための食を中心としたボランティア活動の基礎について学び、受講後は食生活改善推進員として地区活動を実践し、市民の健康づくりサポーターとしての役割を果たす。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 修了者の割合(修了者/受講者) 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. 食生活改善推進員団体連絡協議会入会率(入会者/修了者) 【指標の性格:● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 栄養面についての知識が増え、家庭で実践できた者の割合 【指標の性格:○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献する)	健康を保つ活動が行われている	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	健康教育・相談者数(単位:人)		



2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	20歳以上の市民	人	237.449	237.262	237.355	237.943	240.838	240.840	24 年度 240.840
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	受講者数	人	53	49	80	56	60	90	24 年度 90
活動 指標B	修了者数	人	49	46	80	48	60	90	24 年度 90
活動 指標C									年度
成果 指標A	修了者の割合(修了者/受講者)	%	92	95	100	86	100	100	24 年度 100
成果 指標B	食生活改善推進員団体連絡協議会入会率(入会者/修了者)	%	94	95	100	56	100	100	24 年度 100
成果 指標C	栄養面についての知識が増え、家庭で実践できた者の割合	%	95	99	100	100	100	100	24 年度 100

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	1,527	1,426	1,391	1,391	1,365	1,365	*****
財源	④国	千円	814	870	895	895	1,135	1,135	*****
内訳	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	713	556	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円			496	496	230	230	*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	1,527	1,426	1,391	1,391	1,365	1,365	*****
延べ業務時間数		時間	691	403	700	804	700	700	*****
職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	2,764	1,612	2,800	3,216	2,800	2,800	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	4,291	3,038	4,191	4,607	4,165	4,165	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある <input type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある <input type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由: 修了者の地区活動の推進により、住民の健康・保持増進が図られる。

理由: 健康増進法及び食育推進計画に基づいた事業であり、地域に根ざしたマンパワーを確保するためには、市町村で行うべきである。

理由: 現状の対象で妥当である。

理由: 現状の対象で妥当である。

その内容: 教室の内容を見直すことにより、修了後地域で意欲的に活動する食生活改善推進員を増やすことが出来る。

その内容: もりおか健康21プラン、食育推進計画を推進するマンパワーが不足するため。

※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？

統廃合・連携検討 ☐ できる ☐ できない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ

理由:

その内容: カリキュラムの内容検討や実施回数を見直すことは可能。

その内容: 実施回数を見直すことで、人件費の削減は可能。

理由: 食生活改善推進員団体連絡協議会だけでなく、一般市民を対象として開催しているため。

理由: すでにテキスト等については、自己負担により購入しているため、経費負担は考えられない。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 地区の活動や食生活改善推進員の活動等の紹介をカリキュラムに組み込み、さらに体験することにより、意欲を高めてもらう。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 食生活改善推進員団体連絡協議会の予定等を踏まえた教室の時間調整を検討する必要がある。</p>
---------	---

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table><tr><td>① 必要性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>● 妥当</td><td>○ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>食生活改善推進員の地域に根ざした活動は、食を通した健康づくりのみならず食文化の継承等コミュニティーの維持形成にも大事な役割を果たしてきた。食の面から生活習慣病予防を啓発する活動は、最も身近で最も説得力がある。また、「もりおか健康21プラン」及び「盛岡市食育推進計画」推進の中心的存在でもあり、今後とも、育成していかなければならない。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table><tr><td><input type="checkbox"/> 終了</td><td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td><td rowspan="3"><div>→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</div><div><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</div><div><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</div></td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 廃止</td><td><input type="checkbox"/> 休止</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table> <p>↓</p> <p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>地区における食生活改善を基本とした健康づくり活動を自主的に行う食生活改善推進員の養成は継続する必要がある。</p>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<div>→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</div> <div><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</div> <div><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</div>	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<div>→ <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</div> <div><input type="checkbox"/> 改革改善を行う</div> <div><input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</div>												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													